

当初予算委員長報告

当初予算の審議に絡んで各常任委員会へ付託された議案に対する質疑等の内容を、委員長報告より抜粋してお知らせします。

総務委員会

委員長 小沼秀朗

市税について

Q 市民税83億円とあるが、新型コロナウイルスの影響による歳入見込み額との乖離を伺う。

A ウイルス感染拡大の影響により、税収の低迷が予測されるが、市民サービスが低下しないよう努め、補正予算にて対応していきます。

職員管理費について

Q 職員管理費に関連して、郷土愛を持った資質の高い職員を採用するとあるが、市内在住の方を確保しているのか。

A 面接にて人物で評価し採用しているが、市外の方には、緊急時参集の必要もあるため、市内に住む予定があるかを聞いています。

秘書業務費について

Q 総務費、秘書業務費のうち令和2年度の新たな予算となっている借家料について伺う。

A 借家料とは副市長の住居についてであり、令和元年度は補正予算対応としたため令和2年度の新たな予算となっています。

環境産業委員会

委員長 山本裕三

茶エンナーレ2020の開催に関して

Q 新型コロナウイルスの影響で市内経済は大きくダメージを受けている。茶エンナーレ開催において宿泊施設や飲食店の割引券を配布するなど、観光や産業振興に結びつけるようにしたらどうか。

A 観光や産業振興を所管する課などと連携して、観光や産業の振興に寄与していきます。

新型コロナウイルスの市内経済への影響に関して

Q 新型コロナウイルスが長期化した場合にふるさと納税や企業立地促進事業費補助金、産業立地促進事業費補助金等事業等に影響はでないか。

A ふるさと納税には現在影響は出ていないが、両補助金に関しては製造業、物流業も影響が出始めてきており設備投資の延期や投資自体がなくなる可能性があります。各企業と密な連携を取り合い対応をしていきます。

地球温暖化対策に関して

Q 掛川市はマイバック運動を全国に先駆け行ってきたが、市内でもまだレジ袋有料化されていないお店が数多くある。今後の対策が必要ではないか。

A 市内スーパーのほとんどは、レジ袋の有料化に協力をいただいています。今後は、ホームセンターやドラッグストアにも協力いただけるよう、働きかけていきます。

文教厚生委員会

委員長 窪野愛子

麻しん・風しん予防接種委託料について

Q 抗体検査の対象年齢は40歳～57歳までだが、2年目の令和元年度は何の方が受診されたのか伺う。

A 1月までに、1,525人が抗体検査を実施し、そのうち479人がワクチン接種を受けました。

子ども医療費補助金について

Q 子ども医療費の県補助金について、歳児別通院件数を伺う。

A 1歳未満が21,545件、1歳以上の未就学児は121,370件、小学1年生から高校3年生までは158,561件でした。

図書館運営費について

Q 図書館が学びの拠点となり、市民の学びとは何かという視点で研究をしてほしいがいかがか。

A 現在、図書館運営基本方針の策定を進めています。市民が学習できる機会を増やす施策を考えていきます。